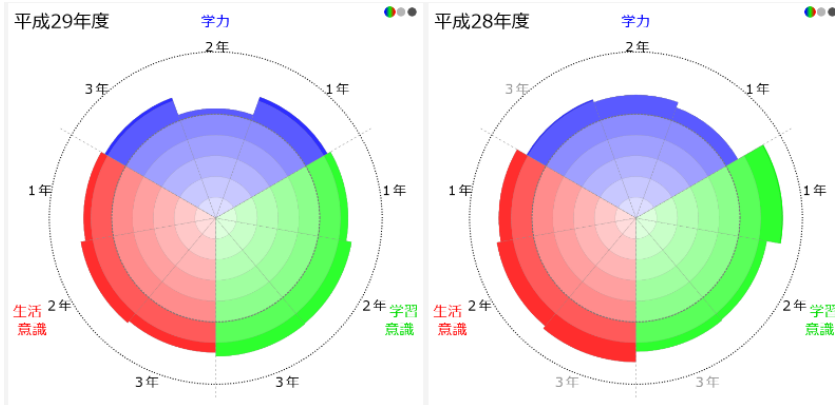


1 横浜市学力・学習状況調査等からの実態把握

(1) 分析チャートからの分析



ア チャートの傾向

教科の学力は、比較的に高学習習慣も身につけている。く学習に対する意識も高い。

イ 学校質問紙

教科指導については、各教科ともに工夫ある授業を心がけており、基礎・基本を大切にして指導している。互いの授業を見合う週間を設定して校内研修会も実施している。今後は多忙な

公務の中ではあるが外部の研修会等への参加により積極的に情報を得ることも必要である。

ウ 生徒質問紙

学習に対する意識が高く塾に通っている生徒の割合が多い。教科によって多少のばらつきはあるが、「勉強が好き」「授業が分かる」と回答している生徒が多い。規範意識は大変高く、あいさつもきちんとすることができる。朝食をしっかりと食べて登校する生徒が多いことから、家庭での基本的生活習慣が身につけていることがわかる。

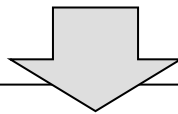
(2) 教科学力及び経年分析

全教科ともに、市の通過率を上回っている。相対的には国語では文学に比べ説明文を読み取る力、社会では基礎知識は身に付けているが思考する力、数学では図形や数量関係についての力、英語では英作文などの表現する力や英文の組み立て方について課題がある。昨年との比較では一層高い学力層を維持していることが読み取れる。

(3) 学校の状況・地域の実態

東京に近く、私立の中学校への進学率が高い地域である。
海外帰国児童生徒の数が多く多様な価値観がある。
保護者、地域の教育レベルが高く、学校教育に対する関心が非常に高く要求度も高い。
保護者は、学校の取り組みに対して協力的である。

2 今後の方向



(1) 最優先課題

- ①教職員の授業力向上を図るための研究・研修時間の確保
- ②確かな学力を身につけさせるための個に応じた授業の展開
- ③生徒のコミュニケーション能力と豊かな心の育成
- ④興味関心を高め、学習に自ら取り組む学習習慣の確立

(2) 学力向上重点目標【中期学校経営方針（平成28年度～30年度）】

- ① 年間1回以上、教師全員が授業を公開し、授業研究を通して「わかる授業」を目指し授業力の向上を図っていきます。
- ② 数学・英語について、習熟度別・T T・少人数指導等による授業を行い基礎・基本の確実な定着と個に応じた指導を推進し、確かな学力を身につかせます。
- ③ 毎日の「朝読書の時間」を活用して読書習慣を身につけ、視野の広い豊かな心を育み、読解力を伸ばしていきます。
- ④ 定期的な学習相談の充実に努め長期休業中等に学習会を実施します。

(1) 教員一人ひとりの授業力向上への取組

ア. 見通しある授業展開とその指導

- ・学校説明会を開催、各教科の指導計画と評価計画を説明し、それに基づいた授業計画を推進します。
- ・年一回の教職員による自己評価及び生徒・保護者による授業評価アンケートを実施し、指導の振り返りをします。
- ・校内で授業研究週間を設定し相互に授業参観、研究協議する機会を持ち授業力の向上に努めます。
- ・指導主事を招聘して、指導と評価の研修会を実施します。
- ・月三回、ノー部活デイを設定し、学力向上にむけた取組の一つとします。

イ. 授業に対する興味・関心を高める

- ・数学・英語では、習熟度別少人数授業・T Tによる授業を通し個に応じた指導を推進し、基礎・基本の確実な定着と確かな学力を身につけることにより学習に対する意欲を高めます。
- ・横浜版学習指導要領による課題解決型授業の実施・・・理科は活動や実験を多く実施しグループ活動等を通して課題解決型授業を進めています。英語はコミュニケーション活動を重視し表現力を身につける授業を進めます。
- ・夏休み中に学習会を設定して、学習方法を教え学習習慣を身に付けさせます。

(2) 学校組織としての取組

ア. 生徒指導・生徒理解の充実

- ・全教職員による生徒理解・・・豊かなコミュニケーションと情報交換を密にはかり、チームとして職員全体で生徒理解、生徒指導にあたります。
- ・道徳教育、人権教育の充実・・・誰もが安心して豊かに生活できる学校をめざして人権・平和・福祉の学習を進め、いじめや暴力をなくすための道徳教育を充実させ心の指導を図ります。
- ・居場所と要場所づくり・・・生徒が安心して生活できる居場所をつくり、生徒のやる気を喚起する環境を整えます。
- ・山内ブロック4小学校との連携を深め、新入生の不安を減らし、新生活への自然な接続を図ります。

イ. 家庭学習の習慣化と基礎学力の向上

- ・数学では、習熟度別少人数授業、T T授業により個々の生徒の基礎・基本の学力の定着を図ります。
- ・国語では、漢字テストと音読練習を継続的に実施します。
- ・「朝読書」の時間を設定し、読解力の育成や豊かな心を育みます。

ウ. 教育ボランティアの活用

- ・各学年での「読み聞かせの会」地域ボランティアの活用
- ・キャリア教育「職業講演会」「職場体験」への地域力の活用

学力向上アクションプラン検証と授業評価・学校評価

評価計画、授業評価 (年1回実施) 学校関係者評価 (年1回実施) まち懇 (年2回実施)